

Link

COMMUNICATION NETWORK FOR MEMBERS

2016. 6

NO.215



CONTENTS

- ザ・リーダー魂~Leader's Soul~
九州流通協同組合
理事長 吉原崇己 氏..... 1
- 第61回通常総会開催!
開催概要/新役員の紹介・組合功労者表彰
平成28年度実施事業の紹介 4~5
- 佐賀県中小企業団体中央会事務局機構図
組合トピックス県政功労賞4組合 6
- キューテック平成28年度助成金
ご応募のご案内.....7
- 熊本地震への対応について
被災した学生・生徒等への配慮について 8
- 「中小企業組合トップセミナー」
を開催します.....9
- 佐青中通信
祝「日本磁器のふるさと肥前」が
「日本遺産」に認定されました!.....10
- 景況NEWS
平成28年3~4月分..... 12
- これからの行事予定・編集雑記..... 15

中小企業団体中央会は、各都道府県に一つ設置された47の都道府県中央会と、中央に全国中央会があり、中小企業等協同組合法に基づき、中小企業組合の連携支援機関として設置されている団体で、組合等を会員として、国・県の助成金等により運営され、組合及び中小企業の健全な発展を図ることを目的としています。

佐賀県中小企業団体中央会の主な事業は次のとおりです。

1 支援事業

- 組合設立 中小企業の組織化に関する一切の支援
- 窓口相談 組合並びに組合員の運営・経理・労働・金融・税務・情報化等の相談
- 巡回相談 指導員の巡回による組合運営等の支援
- 労働相談 労働問題全般についての支援
- 個別専門指導 弁護士・公認会計士・税理士・中小企業診断士・各コンサルタント等の専門家による指導

2 金融の相談・あっせん

- 金融あっせん 商工中金をはじめ政府系金融機関等への事業資金の融資相談
- 共同施設設置相談 中小企業高度化資金の導入指導等
- 制度金融の相談 組合共同事業資金等の県の各制度資金等の相談

3 教育・情報提供事業

- 講習会・研修会の開催
- 情報の提供
- 教育器材の貸出
- 情報連絡員の設置

4 調査・研究事業

- 各種実態調査
- 研究会等の開催
- 各種委員会・懇談会の開催

5 組合助成事業

- 中小企業連携組織等支援事業
- 組合等の情報化対策事業
- 小企業者組織化指導事業……以上の事業の経費に対する助成

6 共済事業

- 中小企業倒産防止共済制度
- 特定退職金共済制度
- 総合保障共済制度
- 企業年金保険制度
- 所得補償制度
- 中小企業オーナーズプラン
- 中小企業PL保険制度
- 火災共済制度
- 自動車事故見舞金共済制度
- 個人情報漏えい賠償責任保険制度

7 青年部活動

- 中小企業青年経営者・後継者の資質の向上のための研修会の開催やそれに対する助成

8 建議・表彰・親睦・その他

- 中小企業対策の強化・推進のために国・県等に対する建議陳情
- 事業運営の優秀な組合及び功労役職員の表彰、国・県に対する表彰者の推薦

熊本地震被害へのお見舞い

この度の熊本地震によって被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、今なお不安の中にある被災地の皆様に、一刻も早い復興と安寧が訪れますようお祈りいたします。私たち佐賀県中小企業団体中央会役職員・会員一同といたしましても、「九州は一つ」との思いで、被災地の皆様が受けた傷と哀しみを我がものとして受け止め、九州中小企業団体中央会連合会並びに全国中小企業団体中央会と密に連携をとりながら、復興に向けて出来得る限りの協力をしてまいる所存です。

ザ・リーダー魂 Leader's Soul

「新たな挑戦をし続けることで活路を拓く」

九州流通協同組合 理事長 吉原崇己 氏
(有限会社ジョイックスシステム 代表取締役)

—九州流通協同組合の組合概要について教えてください。

吉原 私達九州流通協同組合は、「貨物運送の共同受注及び共同配車」「自動車燃料、車両、部品及び消耗品の共同購入」、「高速道路通行料金別納制度事業」(注：現在は「大口・多頻度割引制度」と称されています)といった共同事業を行う事を目的に、平成13年(2001年)10月25日に設立された運送事業者による組合です。現在の組合員は5社となっています。5社と聞くと、コンパクトな組合だと思われるかもしれませんが、確かに小さな組合なのですが、そのコンパクトさゆえ、事業に関して機動力を発揮できるところがメリットです。

—機動力、と申しますと。

吉原 一般論から申しますと、組合員数が多い組合ならば、たとえば「共同購買」等組合の共同事業を実施する際の母数が大きくなりますので共同事業によるメリットが大きくなり、組合運営に有利になるのは事実です。しかしその反面、時代の変化による経営環境の変動に対応しようとして、何か新規の事業を始めようとしても、組合全体で意思統一するまでに非常に時間が掛かったりします。結果として時機を逸して、チャンスを取りこぼす事も有り得ます。その点、当組合のような小さな組合の場合には意思統一が容易で、非常にスピーディーな取り組みが可能となる訳です。

この機動力が私どものような小規模な組合の大きなメリットだと考えています。

—なるほど、規模の経済ではメリットが出にくくても、新規事業へのいち早い取組などで十分にメリットが見い出せるということですね。なにか具体例などございますか。

吉原 業界の専門的な話になり、多少解りにくいかもかもしれませんが、トラック運送業界では、「排ガス規制」が会社経営に大きな負担となっています。運送用のトラックはディーゼル・エンジンが主流なのですが、ディーゼル・エンジンというのは窒素酸化物(NOx)を非常に多く排出するエンジンです。ご承知の通り地球温暖化や酸性雨の抑止の為に、NOxの排出抑制が全地球的な課題となり、我が国でも平成17年、22年の「排出ガス規制」にて比較的厳しく規制されるようになりました。この年度以降、トラックには排気装置にNOx排出を抑制する触媒装置を付けねば運行が出来なくなったのです。当然古い車両では対応していない為に、新規制に対応した車両等への買替えなどの負担も大きかったのですが、それだけでなく、この触媒装置にも課題がありました。

国内の大半のトラックでは、「尿素」を使ってNOxを分解する、「尿素SCR方式」とよばれる触媒装置を採用していますが、この尿素にはドイツ自動車工業会(VDA)より認められた基準を満たして「AdBlue(アドブルー)」という商標名の使用許可を受けた製品の使用がディーラーより推奨されています。ディーラーは、我々運送業者の使うトラックの触媒にはAdBlueを使うように求めています。実は尿素水にはAdBlue以外の製品もあるのですが、AdBlueが推奨されている為、コスト的に有利だったとしても、それ以外の製品を使用する事が憚られるわけです。



—燃料以外にもそのような運用コストが発生するのですね。一般の私達の目に見えない部分で色々な規制があり、業界ならではの苦労があるのですね。

吉原 はい。それで、ここまでは良いのですが、推奨品とはいえAdBlueにも問題がありまして、実はこの尿素水を長く使っていると白い結晶が段々とマフラー内部に出てきて、詰まってくるのです。定期的にマフラーを変えなければ、いずれ詰まってしまう、ある日突然走行中にストップする、等という事故が起こりかねません。大型の貨物トラックが突然止まれば、荷主さんに迷惑がかかるのは勿論ですが、下手をすると悲惨な事故を招きかねません。無論、定期的にマフラーを変えるなどメンテナンスを怠らない事は事業者として当然の努めなのですが、しかし、中小のトラック運送事業者にとってみると、こうしたメンテナンスコストもバカになりません。なんとか、部品交換の頻度を落とす事が出来れば、経営的にも随分と助かります。

実は、こうした我々の悩みを解決してくれる製品が開発され、売り出されたのです。AdBlueと同性能のNOx無害化能力を持ちながらも、結晶化しない尿素水、「エコツアライト」です。先ほども申しましたように、AdBlue以外の尿素製品は従来大手メーカーが認めておらず、なかなか使い辛いものだったのですが、このエコツアライトは、AdBlue認証を受けて、「エコツアライトAdBlue」という製品名を使うことが出来るようになりました。これにより、この製品はAdBlue基準をクリアしたとして、より使いやすくなりました。しかし、まだ本製品を本格的に扱う代理店が県内にはありません。そこで、我々の組合では、共同購買製品としていち早くこの「エコツアライトAdBlue」を扱うこととしました。当面、組合員企業で使ってみて、製品評価をしながら、将来的には組合への加入促進施策の一つの武器にしたり、取扱量を増やして組合員の経営に資する事業の一つに育てていきたいと考えています。

—革新的ながらもまだ評価の固まっていない未知数の製品の為に、代理店等があまり存在しないところでいち早く組合での取扱いを決断する、という点が、小所帯の組合ならではの機動力の発揮というわけですね。

吉原 そうです。性能は確かなのですが、利用実績がないとなかなか利用者は伸びません。そこで、私達の組合で実験を兼ねて利用

し、実績を作る。それにより、この製品は安全だと的確性を多くの荷主を持っていただくことが出来ます。それによって「エコツワライトAdBlue」の利用が広がれば、私達の組合員のみならず多くの中小の運送事業者にとってのメリットにもなるのです。既存製品利用の場合と比べて、荷物の運搬中にマフラーが詰まって急にストップする、というリスクも大きく低減させられますし、この点は受注競争をする上で間違いなく荷主企業へのアピールにもなります。私は常々、組合は組合員企業の経営をアシストする基盤であり、それに徹するべきだと思っています。有難い事に、理事長である私のそうした思いを組合員の皆さんが共有してくれており、比較的私の裁量に信頼を置いてくれています。それ故に、素早い決断、そして実行をする事が出来るのです。

一ところで、さきほどの尿素の件もそうですが、理事長のそういった情報・知見はどこから来るものでしょうか。

吉原 実は、私は佐賀JC（佐賀青年会議所）のOBであり、今現在も佐賀商工会議所青年部の会長を務めさせていただいています。こうした青年団体等を通じて、同業者のみならず異業種の若手経営者、後継者の方々と交流の中で、いろいろな繋がりが出来、新しい友人らとの交わり、会話の中から新しい発想が生まれ、その発想の実行のための具体的な筋道までもが見えてくる、という感じですね。

一広く人間関係のご縁の中から、いろいろな発想が生まれてくるのですね。そうしたさまざまなアイデアで組合事業を活性化させていらっしゃいますが、業界全体としてみると現状はいかがなものでしょうか。

吉原 そうですね。まず、私達の業界で収益を一番左右する経費要因として、燃料、即ち軽油価格の変動が大きい事はすぐにご想像できると思います。軽油価格については、皆様が普段自家用車に給油される際に肌で感じられているとおり、原油価格の大幅下落によって、精製されるガソリン・軽油の末端製品価格も大きく下げました。このお蔭で、私達運送業界は昨年度から今年度にかけては非常に助かりました。ただ、今後原油価格が上昇しても、その上昇分を運賃に容易に転嫁する事は難しいですし、昨年来の原油安より以前には燃料の高値が続いていたので、予断は許さない状況だと認識しています。なにせ、抜本的な資源価格の高騰だけは一組合の共同事業でどうにか出来るものではありませんから。運送業界は小泉政権下の規制緩和によって、認可制から届け出制に大きく舵を切り、結果として運送事業者が激増し、過当競争がおこりました。

過当競争の中では、どうしても運賃競争とならざるを得ません。結果として、単に物を運ぶという本業のみで十分な利益を出す事が段々と難しくなっているのです。

一経営環境の激変への対応は、日本のいろいろな業種にとっても課題となっていますね。

吉原 はい。そこで、厳しい環境の中で生き残り、さらに発展していく為には、既存事業を補完するようさまざまな施策を考え、素早く実行していかねばならないと考えます。これは当組合でなく弊社ジョイックスシステムの事例で恐縮なのですが、たとえば弊社では運送事業の他に旅客運送業や旅行業など、車を中心としながらも貨物運送に止まらない部門を作り、事業を実施しております。さらに、一昨年度、中央会さんから募集のあった「ものづくり補助金（注：平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」）」を活用させていただき、大型の「オートボディプリンター」を導入しました。これは、トラックの側面部分に、フルカラー印刷をする事が出来るプリンター装置です。このタイプのプリンターは現在県内では弊社だけが持つもので、さらに、印刷範囲が横13mまで対応した大きさのものは、導入時、日本国内で弊社にしかありませんでした。このプリンターを導入した事により、たとえば様々な宣伝素材や自社ロゴなどを、

素早く、思い通りにトラックの側面部にペイント出来るようになりました。

一外注でなく、自社でそうしたペイントが簡単に出来るようになるのは画期的ですね。

吉原 そもそもこのオートボディプリンターを導入しようと思ったきっかけは、車体を使った広告宣伝が出来ないか、との発想からです。最近バスや電車などでよく見かける、「車体を宣伝媒体に見立てた広告宣伝事業」ですね。弊社の導入したプリンターを用いれば低コストで容易に様々な塗装が出来ます。そして、私達の業界の性質を考えると、トラックは県内のみならず遠く東日本など県外まで荷物を載せて走行しますので、たとえば「パルーン世界大会」開催のような、自治体のイベント宣伝や観光PRなどを広く県外に周知する媒体として非常に有用なものになるのではないかと考えた次第です。

プリンター導入後、実際に佐賀市には広報媒体として利用させていただいており、実績としてドライバーに聞いた話だと、パーキング等に停車中、わざわざトラックの車体の写真を取りにいらっしゃる方も居られるようで、そんな方には弊社ドライバーからイベントのパンフレットを配布し、周知効果をさらに高める工夫をしています。勿論、これに関してドライバーには別途宣伝手当を付けるので、ドライバーとしても仕事に関して満足度が上がる仕組みです。また、加えて、お金を頂く「広告媒体」を運転するわけですから、当然、これを傷付けたり壊したりした場合、お金を頂けなくなります。ドライバーがそれを意識する事で、自然と安全運転の意識が芽生え、丁寧で安全な運転をする事により、事故抑止にも繋げる事が出来ます。本事業に関して、これから広く利用者を開拓していきたいと思えます。

ここまでは弊社単独の事業のお話でしたが、組合事業も同じように「新しい発想」で企画を行い、いち早く実現をしていく事で、活路を見出す事が出来るのではないのでしょうか。

一具体的に何かお考えですか。

吉原 先程の「エコツワライトAdBlue」の普及・利用促進もそうですが、組合結成当初からの課題でもある、組合員の為の「共同配車のシステム」の構築などにも取り組んでいきたいと思えます。また、まだ構想段階なのでハッキリとはお話しできませんが、荷主さんと我々組合員との関係を、より密に、少し進んだもの出来るように、組合制度を利用した施策も考えたりしています。

一吉原理事長のように豊富なアイデアをお持ちで、また実行力があるならば、組合も当面安泰ですね。最後に理事長自身の事について聞かせていただきますが、座右の銘とご趣味等をお教えてください。

吉原 座右の銘と急に聞かれると難しいですねえ（笑）。私が常々意識しているのは「配慮」ということです。会社を経営するにあたって、必要なのは「配慮」と考えます。社員への配慮、社員の家族への配慮、お客様への配慮、等々です。経営者、リーダーだからといって、社員や部下に配慮しなくていいという事はありません。相手が何を欲しているのか、相手の為にこちらが何を出来るのか、常に考え、互いに配慮があれば、その会社や組織は上手くいくのではないのでしょうか。そういう気持ちで経営を行い、理事長職を務めさせていただいています。また、趣味・・・というと、最近はなかなか実現できていませんが、車やバイクが趣味でして、時間があればスポーツタイプの車や、ハーレーを存分に運転してツーリング等を行いたいですね。他には、食べ歩きやお酒などです。知らない店で新しい料理を見つけるのは楽しいですよ。

一これからの組合発展が楽しみです。

本日は貴重なお話ありがとうございました。

九州流通協同組合

〒842-0063 神崎市千代田町迎島547番地8
TEL 0952-34-6511 / FAX 0952-44-5891

第 61 回通常総会開催



本会では去る5月18日(水)、佐賀市与賀町ホテルニューオータニ佐賀にて第61回通常総会を開催しました。木原長正副会長の開会の辞、内田健会長挨拶の後、議長選出が行われ、溝口進副会長が議長に選出されて審議に入りました。事務局より平成27年度事業報告書及び決算関係書類、平成28年度事業計画案及び収支予算案が提出され、出席者全員の賛成を得て承認さ

れました。続いて、任期満了による役員改選が行われ、内田健会長が再任されたのをはじめ副会長3名、専務理事1名、理事23名、監事3名の合計31名の新役員が選出されました。また、議案審議終了後、多数のご来賓の方に臨席いただくなか、佐賀県の中小企業団体制度振興に特に功績のあった3名の方に中小企業団体功労賞が贈られました。その後ご来賓である池田英雄佐賀県副知事、桃崎峰人佐賀県議会副議長にご祝辞を賜り、本島直幸理事の開会の辞の後、盛会裏に終了しました。

新役員 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ご紹介

(5月18日選出時・敬称は省略)



会 長
内 田 健

佐賀県火災共済協同
組合 理事長



副会長
溝 口 進

佐賀県産業振興
協同組合 理事長



副会長
馬 渡 雅 敏

公益社団法人佐賀県
トラック協会 会長



副会長
木 原 長 正

肥前陶磁器商工
協同組合 理事長



専務理事
江 島 秋 人

新役員ご紹介

理事	枝吉 順佑	佐賀県紙業振興協同組合	理事長	理事	喜多島俊一	佐賀県商店街振興組合連合会	理事長
理事	中村 直紀	佐賀商工振興協同組合	理事長	理事	古賀 醸治	佐賀県酒造協同組合	理事長
理事	岸本 剛	佐賀県建設工業協同組合	理事長	理事	古賀 久志	佐賀県電気工業業工業組合	理事長
理事	松雪 秀敏	協同組合鳥栖商工センター	理事長	理事	山下 博史	協同組合クレオパーク鍋島	理事長
理事	吉田 和義	佐賀県豆腐商工組合	理事長	理事	淵上 史貴	佐賀県中小企業青年中央会	会長
理事	本島 直幸	佐賀県税会	会長	理事	伊藤 健一	佐賀県中央経営コンサルタント協同組合	理事長
理事	吉村 正	ハイテクパワーロジステック協同組合	理事長	理事	今村 芳幸	佐賀県美容業生活衛生同業組合	理事長
理事	岩永 敏機	佐賀県青果食品商業協同組合連合会	会長	理事	坂井 浩毅	佐賀県信用保証協会	会長
理事	樺島 雄大	諸富家具振興協同組合	理事長	理事	松永 一博	唐津信用金庫	理事長
理事	古賀 義治	佐賀県製粉製麺事業協同組合	理事長	理事	野口 和雄	協同組合戸上会	理事長
理事	福岡 桂	佐賀県生コンクリート工業組合	理事長	監事	芹田 泉	佐賀県信用組合協会	会長
理事	原 健三	佐賀県印刷工業組合	理事長	監事	原田 元	佐賀県陶磁器工業協同組合	理事長
理事	秀島 宣雄	佐賀大和工業団地協同組合	理事長	監事	佐野 康隆	税理士	員外

■ ■ ■ 平成28年度中小企業団体功労賞受賞者 ■ ■ ■



山下 博史 氏



山口 利光 氏



松尾 利弘 氏

協同組合クレオパーク鍋島
理事長

佐賀県理容生活衛生同業組合
理事長

佐賀工場団地協同組合
事務局長



池田副知事より祝辞



表彰の様子



ご来賓の皆様



懇親会の様子

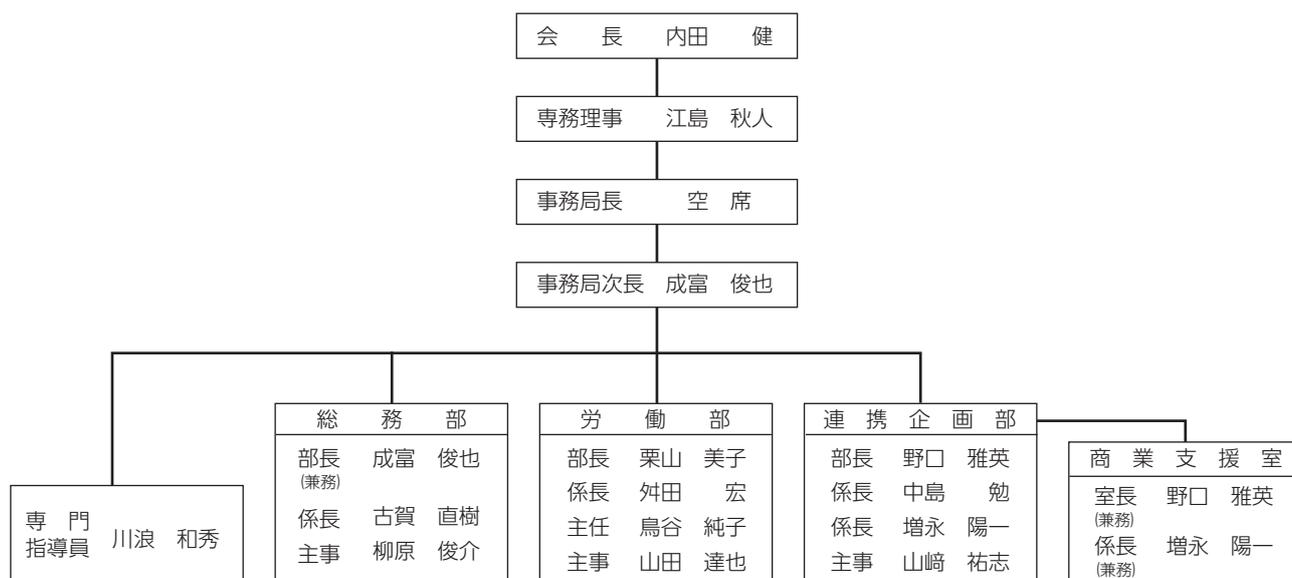
平成28年度中央会の主な実施事業

総じて、以下の事業が28年度中央会実施事業として承認されました。

1. 連携組織指導機関としての実績と指導をベースにした事業活動支援
 - (1)組合及び組合員企業の経営革新支援
助成事業の有効活用
 - イ. 新商品・新市場開拓・システム開発等
 - ・中小企業活路開拓調査・実現化事業への取組み支援
 - ・新連携事業への取組み支援
 - ・中小企業地域資源活用プログラムへの取組み支援
 - ・経営革新への取組み支援
 - ・農商工連携への取組み支援
 - ・ものづくり・商業・サービス革新事業の取組みによる支援
 - 佐賀県地域事務局の設置・運営による補助金導入支援
 - (2)組合の管理運営に対する支援
 - イ. 組合現場への巡回支援の強化
 - ・巡回指導・支援の強化によるきめ細やかなサービスの提供
 - ・個別経営問題及び業界、組合等の問題等の実態把握と対応
 - ・組合法の周知並びに遵守の徹底
 - ・業績不振組合、休眠化組合に対する巡回指導の強化
 - ロ. 組合事務局の強化
 - ・組合事務局管理者研修開催
 - ・組合事務局の交流促進
 - ハ. 佐賀県中小企業団体事務局代表者会との連携強化
 - ・事務局体制強化への支援
 - ・人的ネットワークの構築
 - ニ. 組合監査業務支援
 - ・組合監査指導事業の実施
 - ホ. 小規模事業者組織化指導事業の実施
 - ・小企業者の組織化の推進
 - ・小企業者組織化特別講習会の開催
 - ・小企業者組織化指導研究会への参加
 - ・取引力強化推進事業の実施
 - (3)組合青年部の活性化支援
 - イ. 佐賀県中小企業青年中央会を通じて次代を担うリーダーの育成の支援の強化
 - ・先進事例研究会、研修会開催
 - ・組合青年部活性化交流
 - ・青年部間の交流促進
 - ・青年部の組織化推進
 - ・青年部ブック交流
 - ・後継者育成等支援事業の実施
 - (4)各種情報の提供
 - イ. 機関誌、ホームページによる情報提供
 - ・機関誌「Link」の発行
 - ・中央会ホームページによる広報
 - ロ. 先進事例の提供
 - ・資料収集加工の実施
 - (5)組合及び組合員企業の情報化促進支援
 - イ. 情報化機器の活用の上
 - ・情報化担当者の研修実施
 - ・情報化現地指導の実施
 - ロ. 情報ネットワークの運営
 - ・組合及び組合員間のネットワーク構築を支援
 - (6)表彰及び諸栄典への具申
 - ・優良組合、組合功労者、組合専従職員等に対する表彰の具申
 - ・褒章、叙勲等の具申
2. 中小企業をめぐる環境の変化、新たなニーズに対応した多様な企業連携への支援
 - (1)創業、経営革新、新連携、農商工連携などを目的とする連携組織の設立、運営支援
 - ・商工会議所、商工会、支援センター等の支援機関との連携強化による、連携ニーズの掘り起こし
 - ・新連携対策事業への取組み支援
 - ・中小企業地域資源活用プログラムへの取組み支援
 - ・農商工連携の推進及び取組み支援
 - ・ものづくり中小企業の育成支援
 - ・中小企業の海外展開への支援
 - ・機関誌「Link」・ホームページによる設立事例を紹介、中小企業連携の有効性の広報
 - ・任意団体、異業種グループの法人化推進
 - (2)創業を目的とする企業組合の設立推進
 - ・創業に最適な企業組合のPRと活用の推進
 - (3)新たなネットワーク作りへの支援
 - ・任意組織、NPO、LLP、LLC、共同出資会社、組合等設立目的に応じた連携の推進
 - ・佐賀県食品産業協議会の運営支援
 - ・多様な連携組織の推進による多角的な交流促進
3. 業界振興の方向づけへの支援
 - (1)業界等活性化支援
 - ・巡回指導・支援活動の強化による業界、組合、所属企業等の実態把握
 - ・組合と企業等とのマッチングを視野に入れた支援の推進
 - ・国等の施策・助成事業の導入による、業界振興モデルの作成支援
 - (2)地場産業活性化支援
 - ・緻密な巡回指導・支援活動による地域の地場産業の実態及びニーズ等の把握
 - ・国、県、全国中央会等の支援事業、助成事業の活用による活性化への取組み支援
 - ・機関誌「Link」及びホームページ等を通じて新製品等のPR場の提供
 - (3)課題を抱えている業界等への集中支援
 - ・陶磁器関連業界、共同店舗等商業関連組合等に対する集中支援
 - ・佐賀県商店街振興組合連合会に対する集中支援
 - (4)成長産業への支援強化
 - ・佐賀県自動車産業振興会等への支援強化
 - (5)人材育成への支援強化
 - ・ものづくり分野の人材育成
 - ・農商工連携等人材育成
4. 業界を通じる地域・社会の課題への積極的対応
 - (1)社会環境変化への対応支援
 - ・経済グローバル化及び環境、リサイクルへの対応支援
 - (2)労働問題への対応支援
 - ・外国人技能実習生共同受入事業の推進支援
 - ・外国人技能実習制度適正化事業の実施
 - ・労働事情実態調査の実施
 - ・産業人材ステーション事業の実施
 - ・企業開拓支援
5. 他支援機関との連携による効果的な企業活動の支援
— リンクステーションとしての機能 —
 - (1)行政及び中小企業支援機関との連携強化
 - ・九州経済産業局、中小企業基盤整備機構等からの情報の収集と提供
 - ・佐賀県、支援センター、商工会議所、商工会等との常時の情報交換
 - (2)金融機関との連携強化
 - ・政府系金融機関、地元金融機関、信用保証協会等との情報交換
 - (3)大学、研究機関及び専門家との連携強化
 - ・佐賀地域産学官連携推進協議会活動
 - ・佐賀大学科学技術共同開発センター運営協力
6. 業界ニーズの把握と施策反映への活動
 - (1)業界ニーズの把握と総意形成
 - ・中小企業団体全国大会、九州大会への参加による総意の建議・陳情活動
7. 事務局機能の強化
 - (1)指導員の意識改革と資質向上
 - ・職場内教育の充実
 - ・体系的な教育、研修への派遣
 - ・中小企業大学校への派遣
 - ・中小企業診断士通信講座の受講
 - (2)事業評価システムの実施
 - ・支援事業の効果を高めるため、事業評価システムの実施
8. 自主財源の確保による財政基盤の強化
 - (1)会員増加による会費収入の拡大
 - ・未加入組合、任意グループ、個別企業の加入促進
 - ・新規組合設立の促進
 - (2)収益事業の増大
 - ・各種共済事業の普及促進
 - ・その他各種収益事業の受託の検討
 - (3)費用の節減
 - ・恒常的経費削減の徹底

佐賀県中小企業団体中央会事務局機構図

平成28年5月19日現在



組合トピックス

平成28年度県政功労者として4組合が表彰される



教育や産業、文化など各分野において県政発展のため尽力した県政功労者を表彰する「平成28年度県政功労者知事表彰式」が5月9日(月)、佐賀市の佐賀城本丸歴史館で開催され、「肥前陶土工業協同組合」「佐賀県陶磁器工業協同組合」「肥前陶磁器商工協同組合」「佐賀県電器商業組合」本会会員4組合が受賞されました。

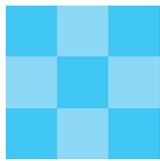
なお、受賞内容は下記のとおりです。

○産業の振興、雇用の促進

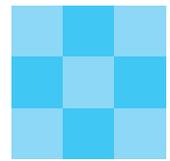
- 〔産業振興〕 肥前陶土工業協同組合(嬉野市)
- 〔産業振興〕 佐賀県陶磁器工業協同組合(有田町)
- 〔産業振興〕 肥前陶磁器商工協同組合(有田町)

○福祉・保健衛生、くらしの向上

- 〔情報通信〕 佐賀県電器商業組合(佐賀市)



「一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ 企業育成財団」(キューテック) 平成28年度助成金応募のご案内



「一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団」(略称キューテック)は、九州・山口地域における技術指向型中小企業の育成を通じて、地域経済振興並びに中小企業の発展に貢献することを目的として、昭和60年8月に設立された団体で、下記の新技术、新製品等の研究開発並びに人材育成に対する助成金の交付を行っています。

■助成対象者

- (1) 九州・山口地域に本社または研究開発拠点がある中小企業（個人事業者を含む）
※中小企業基本法に定める中小企業で、製造業の場合は資本金3億円以下又は従業員300人以下です。
- (2) 創業後10年以内又は新事業進出後10年以内の中小企業。
- (3) 新技术、新製品等の研究開発及び企業化を実施しようとする具体的計画を持っているもの。

◆ 応募受付期間：平成28年4月1日～平成28年8月31日 ◆

助成金には、「研究開発助成金」と「人材育成助成金」の2種類があります。各々の助成金の内容については、次のとおりです。

研究開発助成金

助成金の用途：研究開発のために必要な調査研究費、設計費、試験費、試作費、設備費、原材料費等

助成対象事業：現在の技術水準からみて新規性のあるもので、産業経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与すると認められる新技术、新製品等の研究開発に関するもの（これに関連する設備、部品、材料、原材料等の開発に関するものも含む）で、2年以内に企業化の可能性があるもの。

助成金の金額：平成28年4月以降支出される費用の1/2もしくは5百万円のどちらか少ない額で、平成29年1月頃に交付を予定しています。

人材育成助成金

助成金の用途：大学、研究機関等へ企業の研究員出向に必要な授業料、研究料（出向先に納付する金額）、その他出向研究に必要な費用等

※大学等とは、国立、公立、私立の大学をはじめ、国立大学の共同研究センター、短期大学、工業高等専門学校等が含まれます。

※研究機関等とは、各県の工業技術センター、工業試験場、農業試験場、窯業試験場等国立、公立の試験研究機関等が含まれます。

助成対象研究：産業経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与すると認められる新技术、新製品等の研究開発に関するもの（これに関連する設備、部品、原材料等の研究開発に関するものも含む。既存知識を得るための一般研修に類するものは対象外）。

助成金の金額：平成28年4月以降支出される費用の1/2もしくは1百万円のどちらか少ない額で、平成29年1月頃に交付を予定しています。

■応募先、お問い合わせ先（申込書用紙の請求先）

〒810-0062福岡市中央区荒戸2丁目1番9号 FKビル3階
一般財団法人 ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団
TEL 092-761-0448 FAX 092-713-6637
URL:<http://www.kyutec.or.jp>
(ホームページからも申込用紙をダウンロードできます)
E-mail:info-fk@kyutec.or.jp

熊本地震の被害への対応等について

平成28年4月14日、16日に、熊本を中心として九州全土を襲った大地震とその余震により被害を受けた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、標記地震に関し、本会では被害が発生した組合・組合員企業様向けに随時相談を受け付けております。(平日午前8時30分～午後5時00分、TEL：0952-23-4598)

熊本地震に関連し、経営上お困り事がございましたら本会まで遠慮なくご相談ください。

なお、熊本県・大分県等の取引先企業が地震により被害を受け、何らかの資金的な手当てが必要である等の場合、「佐賀県産業労働部経営支援課（佐賀県庁新行政棟6階）」(電話 0952-25-7093 FAX 0952-25-7270) 並びに「佐賀県信用保証協会」(業務部・電話 0952-24-4342 FAX 0952-24-5698) に金融相談窓口が開設されておりますので、そちらも是非ご利用ください。

また、本件に関連し、以下のとおり佐賀労働局長より要請がありました。今回の地震で被災した学生・生徒らの就職活動への配慮要請となっておりますので、ご一読のうえ、是非ご協力をよろしくお願い致します。

平成28年4月22日

佐賀県中小企業団体中央会長 殿

佐賀労働局長



平成28年熊本地震により被災した学生・生徒等への配慮について（要請）

日頃より、各種の雇用対策に格段の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

事業主の皆様におかれては、現在、平成29年（2017年）卒業・修了予定者に対する広報活動を進めておられると思いますが、平成28年熊本地震により被災した学生・生徒等については今後の就職活動に大きな影響が生じることが懸念されます。

このため、既に一部の団体では取り組んでいただいているところですが、事業主の皆様には広報活動及び今後の採用活動について、地震により被災した学生・生徒等の個別の事情を十分に勘案し、柔軟な対応をお願いいたします。

具体的には、ホームページ等を活用した企業説明会のさらなる実施、エントリーシートの提出期限の延長、採用選考日程の別途設置、その他特別な措置など、最大限柔軟な対応を御検討いただくとともに、これらの対応の積極的な発信に努めていただきたく存じます。

また、地震により被災した学生・生徒等の置かれた厳しい状況に御配慮いただき、こうした学生・生徒等の積極的な採用をお願いいたします。

貴団体におかれても、私どもの要請に何卒深い御理解を賜り、傘下団体及び事業主の皆様にご趣旨を徹底していただきたく御協力をお願い申し上げます。

7月19日(火)～20日(水)

「中小企業組合トップセミナー」を開催します!

変化著しい内外の政経情勢下における中小企業の経営環境等についての認識を深め、また、県内中小企業者の連携交流を促進することを目的として本会が毎年夏季に、嬉野市「大正屋」において開催しております「中小企業組合トップセミナー」を7月19日(火)～20日(水)の日程で今年も開催いたします。

今年は第一日目に主要局のニュース番組等でもお馴染みの、時事通信社特別解説委員田崎史郎氏をお迎えし、「これからの政局のゆくえ」として、夏の参議院選挙を受けて、日本の政治・経済がどう変わっていくのか政治報道の現場からの視点でお話しいただきます。

第二日目には、戦国マーケティング株式会社代表取締役でランチェスター戦略コンサルタントの福永雅文氏をお迎えし、「真田三代四将 ～幸隆・昌幸・信之・幸村～に学ぶ弱者逆転の戦略」をテーマにお話しいただきます。中小企業が大企業のパワーゲームの中でどう立ち回り、生き延びて自社を繁栄させるのか。今年の大河ドラマの主演であり、また豊臣秀吉の朝鮮出兵によって佐賀県にもゆかりのある真田家は、どのようにして乱世を生き延び、江戸の太平の世まで家を残す事が出来たのか、そこから経済という戦場で生きる我々が現代の乱世を生きぬく為のヒントを得る事が出来るのではないのでしょうか。是非会員の皆様多数のご参加をお待ちしております。



田崎 史郎 氏



福永 雅文 氏

■開催日程及び講師・テーマ

日付	時間	テーマ等	講師等
7月19日 (火)	15:00	開会挨拶	佐賀県中小企業団体中央会
	15:10 } 16:30	これからの政局のゆくえ	時事通信社 特別解説委員 田崎史郎 氏
	17:30 } 19:00	交流懇親会	
7月20日 (水)	9:30 } 11:00	真田三代四将 ～幸隆・昌幸・信之・幸村～ に学ぶ弱者逆転の戦略	ランチェスター戦略コンサルタント 戦国マーケティング株式会社 代表取締役 福永雅文 氏
	11:00	閉会	

■開催場所 嬉野市嬉野町「嬉野観光ホテル大正屋」 TEL:0954-42-1170

■参加費

- 1名様 20,000円 (懇親会・宿泊・朝食付:シングルルーム希望の場合は25,000円)
- 10,000円 (懇親会まで参加・宿泊無し)
- 3,000円 (セミナーのみ参加の場合(2日間))

お問い合わせは中央会 連携企画部TEL:0952-23-4598 (担当:中島・山崎) まで。

青年部活動報告:協同組合佐賀逸品会青年部



協同組合佐賀逸品会青年部では、中央会の補助事業（※）を利用し、成長が続く特定名称酒市場のユーザーの消費動向リサーチと新商品開発を目的に、首都圏に日本酒専門の料飲店5店舗を持つモトインプレッションジャパン株式会社より、日本酒スタンド 酏・天野直生店長兼料理長、PLAT STAND 酏にて日本酒と食材の仕入れを担当する川名良平氏の2名を講師としてお呼びし研修事業を実施しました。

研修では、日本酒を好むお客様がいまどのような着を好んでいるのか、料理人がメニュー開発や仕入れにおいてどのような点をポイントとして見ているのかについて両講師から詳しくお話をお聞きし、より飲食店で使われやすい商品の開発に向けた情報交換を行いました。また、部員それぞれの企業を回り、それぞれの商品についてアドバイスを頂く事が出来、その中から新製品のアイデアも生まれました。

※青年部で研修会（講習会）を実施する際に、講師謝金旅費、会場費、研修会費などを2/3まで助成する補助金です（上限・事業費総額の2/3もしくは20万円までのうちの安い金額）

佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA）では、会員青年部の皆様が実施する自主研修事業等の支援も行っております。補助事業を活用すると、自己負担額1/3で各種研修（講習）会事業を実施することができます。助成対象になるかどうか等、詳しくは事務局担当者山崎もしくは、各青年部親組合の中央会担当者（TEL0952-23-4598）までお気軽にお問合せください。



佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA）

会 長 淵上史貴（佐賀青果食品（協）青年部長、（有）淵上青果代表取締役）
 会員数 37名

佐賀県中小企業青年中央会（佐賀UBA）は、県内経済の次代を担う中小企業組合の青年経営者、若手後継者等の育成を主な目的として昭和51年に結成されました。現在、単なる後継者育成事業に留まらずに、互いに交流を深め意見を交換しながら、業種の垣根を超えたビジネスの創出、ビジネス・マッチングによる新しい経済活動の創出を目指し活動しています。本会の趣旨に賛同していただける未加入の組合青年部がございましたら、是非加入をご検討ください。

お問い合わせは事務局0952-23-4598（中央会内）まで。

祝!「日本磁器のふるさと肥前」が「日本遺産」に認定されました!

「日本遺産」とは、地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーによって、地域に点在する遺産を「面」として活用・発信することで「地域活性化を図ること」を目的として文化庁が認定するものです。

この日本遺産に、今年4月25日付で『日本磁器のふるさと肥前～百花繚乱のやさみの散歩～』をテーマとして、肥前地区の焼物文化が認定されました。

今後、3月30日に関係者で組織された「肥前窯業圏」活性化推進協議会において、「日本遺産PRイベントの実施」「域内の文化観光資源を最大限に活かすための総合戦略策定」「プロモーションビデオや多言語ホームページの制作などの情報発信事業」「陶磁文化体験コンテンツやサービスの整備などの文化観光創出事業」など、陶磁器を核とした地域の豊かな資源を活用して地域が誇る歴史的・文化的魅力を発信、その素晴らしさを再認識し広域的な人の流れを創出、地域活性化に資する取り組みが行われていく事となります。



「日本遺産」については下記文化庁WEBサイトも是非ご覧ください。

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/

企業の人事担当者の皆様へ

当センターでは

**人材の確保・従業員の再就職を
支援しています。**

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、お気軽にご相談ください

安心と信頼のネットワーク



公益財団法人

産業雇用安定センター佐賀事務所

佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビル10階

TEL0952-22-7163 FAX0952-27-9163

インターネットで最新の人材情報をどうぞ

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況NEWS

平成28年3～4月分

佐賀県内中小企業37業界の景況

中央会では、県内37業界より情報連絡員を委嘱し、毎月その業界の景況等についてご報告をいただいております。

ご報告いただいた平成28年3～4月分の景況は下記の傾向を示しています。

なお、全国中央会が取りまとめている全国の調査結果をご希望の方は本会までご連絡下さい。全国中央会ホームページ (<http://www2.chuokai.or.jp/keikyoku.asp>) からご覧いただけます。

3月、4月の傾向

(調査票取りまとめ：平成28年4月15日 情報連絡員総数36名：3月回答数32名：回答率86.5%、4月回答数33名：回答率89.2%)

今期（3-4月期）の景況調査結果について<前月比>DI（全業種）をみると、主要指標である「売上高」は、3月時調査結果では37.5と前月からの水準を維持したものの、4月時の調査結果ではマイナス10.4と急落となった。「収益状況」に関してみると、3月時調査結果9.4、4月時調査結果はマイナス20.7となり、売り上げ状況に連動した結果となった。また、「業界の景況」について見ると、3月時調査は9.4、4月時調査結果ではプラスマイナス0.0となり、やはり4月時調査で落ち込んだものの、マイナスには至らず推移した。

一方、今期の景況調査の結果について<前年同月比>DI（全業種）でみた場合、主要指標の「売上高」については、3月時調査結果はマイナス15.7だったが、4月時調査結果はマイナス6.9となり、マイナス幅が減少した。「収益状況」に関してみると、3月時調査結果はマイナス12.5、4月時調査結果はマイナス10.4となり、前期（1-2月期）調査時よりやや改善した。これに連動するように、「業界の景況」についてみると3月時マイナス12.5、4月時調査ではマイナス6.9となり、マイナス幅が縮小、改善傾向となっている。（グラフ参照）

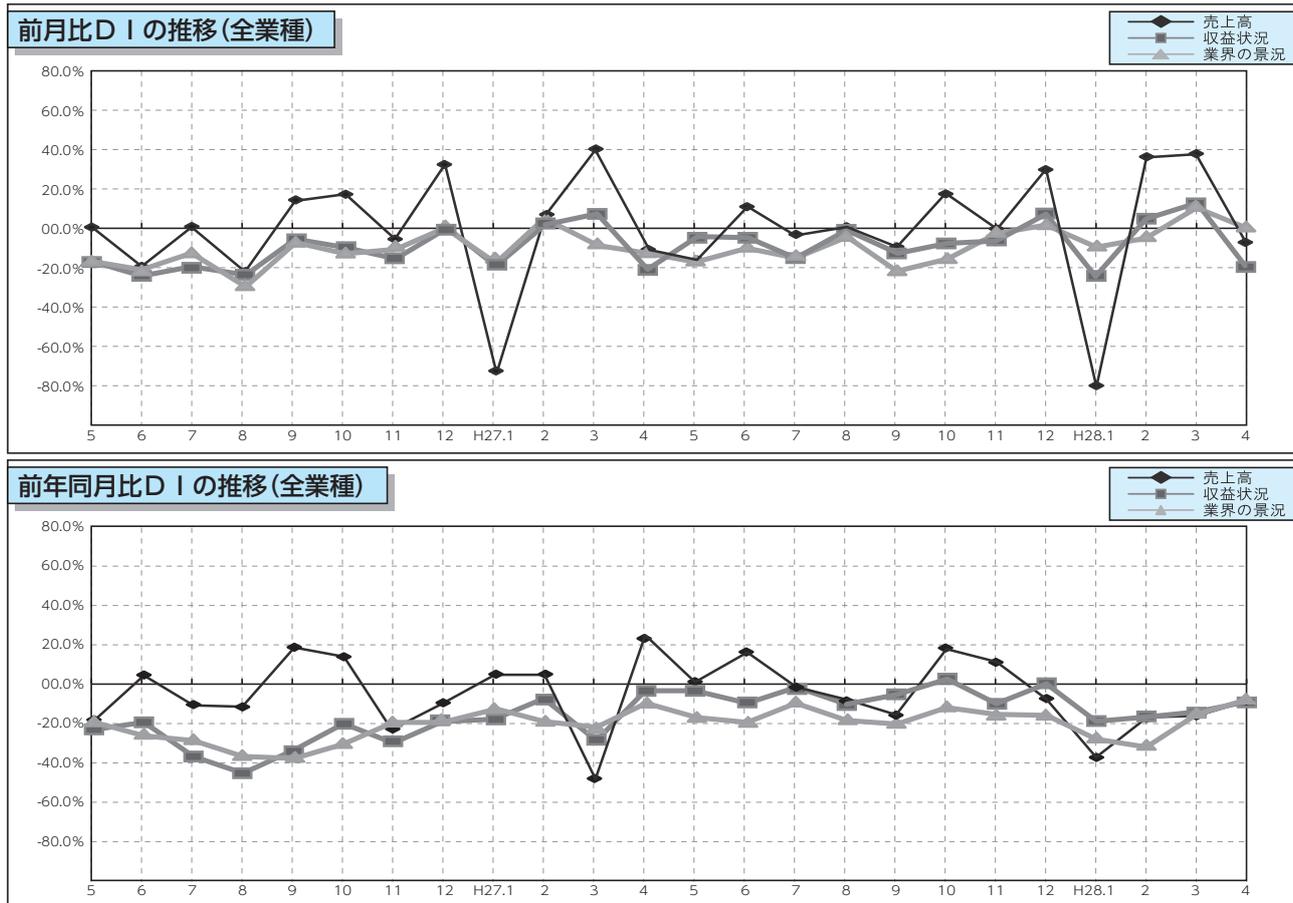
●DI[景気動向指数]値(全業種)

上段が3月分、下段が4月分

	前 月 比					前 年 同 月 比				
	↗	→	↘	DI	評価	↗	→	↘	DI	評価
売上高 [DI]=[増加]-[減少]	53.1%	31.3%	15.6%	37.5%	🟡	28.1%	28.1%	43.8%	-15.7%	🟡
	31.0%	27.6%	41.4%	-10.4%	🟠	27.6%	37.9%	34.5%	-6.9%	🟡
在庫数量 [DI]=[減少]-[増加]	4.8%	66.6%	28.6%	23.8%	🟡	9.5%	66.7%	23.8%	14.3%	🟡
	15.8%	78.9%	5.3%	-10.5%	🟠	15.8%	63.1%	21.1%	5.3%	🟡
販売価格 [DI]=[上昇]-[低下]	6.3%	90.6%	3.1%	3.2%	🟡	18.8%	74.9%	6.3%	12.5%	🟡
	13.8%	79.3%	6.9%	6.9%	🟡	27.6%	62.1%	10.3%	17.3%	🟡
取引条件 [DI]=[好転]-[悪化]	3.1%	96.9%	0.0%	3.1%	🟡	6.3%	90.6%	3.1%	3.2%	🟡
	3.4%	93.2%	3.4%	0.0%	🟡	6.9%	82.8%	10.3%	-3.4%	🟡
収益状況 [DI]=[好転]-[悪化]	18.8%	71.8%	9.4%	9.4%	🟡	15.6%	56.3%	28.1%	-12.5%	🟠
	6.9%	65.5%	27.6%	-20.7%	🟠	17.2%	55.2%	27.6%	-10.4%	🟠
資金繰り [DI]=[好転]-[悪化]	3.1%	90.6%	6.3%	-3.2%	🟡	3.1%	84.4%	12.5%	-9.4%	🟠
	6.9%	89.7%	3.4%	3.5%	🟡	3.4%	79.4%	17.2%	-13.8%	🟠
設備操業度 [DI]=[上昇]-[低下]	20.0%	73.3%	6.7%	13.3%	🟡	13.3%	66.7%	20.0%	-6.7%	🟡
	8.3%	66.7%	25.0%	-16.7%	🟠	8.3%	75.0%	16.7%	-8.4%	🟡
雇用人員 [DI]=[増加]-[減少]	3.1%	96.9%	0.0%	3.1%	🟡	6.3%	90.6%	3.1%	3.2%	🟡
	3.4%	93.2%	3.4%	0.0%	🟡	10.3%	79.4%	10.3%	0.0%	🟡
業界の景況 [DI]=[好転]-[悪化]	12.5%	84.4%	3.1%	9.4%	🟡	9.4%	68.7%	21.9%	-12.5%	🟠
	10.3%	79.4%	10.3%	0.0%	🟡	10.3%	72.5%	17.2%	-6.9%	🟡

🟡=良い (DI>30%)、🟠=やや良い (30%≥DI>10%)、🟡=変わらない (10%≥DI>-10%)
 🟠=やや悪い (-10%≥DI>-30%)、🟠=悪い(DI≤-30%)

●DI（景気動向指数）値の推移



< 業界通信 >

■佐賀県菓子工業組合 理事長 中原正博 氏

菓子の需要はあまり勢いが感じられなかったが、堅調さは何とか保っている。組合員による温度差があり、全体的に横ばい傾向だ。最後の週は連休の前半戦であったが、熊本、大分地方の震災もあり、微妙な菓子需要の動きがあった。社会経済全体の影響かもしれないが、心理的にも消費者に買い控えの購買状況になってきている感じがする。

■嬉野茶商工業協同組合 理事長 井上真一郎 氏

3月の気温・天候が安定していた為、今月の新茶初入れも前年とほとんど変わりなく、4月18日が初入れ日であった。天候にも恵まれた事もあって味・香り、水色と三拍子揃った上質茶が多く出品され、出品量もここ数年の内で最高の量であった。ゴールデンウィーク中に開催される有田陶器市にも多くの茶店が来店され、また百貨店、スーパー等で新茶売り出しが行われる予定である。今年の新茶は上品質の茶葉がそろっている為4月の後半から5月の売出しに期待が持たれる。

■諸富家具振興協同組合 事務局長 林田 茂 氏

売上が伸び悩んでいる状況の中、製造部門を廃止した事業所が出てきた。前年比の売上げは不変と減少の事業者が同数であった。資材の高騰を販売価格に転嫁出来ず、収益は上がらないし、同時に景況感も悪い。

■佐賀県陶磁器工業協同組合 専務理事 百武龍太郎 氏

共販前年比は112%、前々年同月比は111%。只、上位10社の組合員で全体売上の50%を超え、又、商社の上位15社で全体の60%近くあり、上位に偏ってる現状であります。それだけ、市場動向アンテナの高低が売上に影響していることは否めません。行政支援を実りあるものにする自助努力の有無が業績を左右することとなります。

■肥前陶土工業協同組合 事務局 一ノ瀬秀治 氏

4月の陶土共同販売高は前年同月比約115%、対前月比約94%で推移する見込み。近年、4月は陶器市を控え、窯元が造る方から売方へシフトする為か、稼働日数の影響も合わさって3月から4月にかけては売上、荷動き共に下がる傾向が続く。前年並みの荷動きは維持しており、悲観することはないが、夏場の閑散期に向けどの程度今の流れを継続出来ているのか、また熊本地震の影響がどの様になるのか注視している。

■肥前陶磁器商工協同組合 専務理事 藤 雅友 氏

前月比100.6%、前年比106.7%。

飲食店などの設備投資による業務用需要や、チェーン店への商品及び既存商品の纏まった注文などが数字を押し上げた。外部クリエイターとコラボした新しい商品開発の取組などの動きも見られ、有田焼創業400年の取組との相乗効果が現われているように思える。

■佐賀青果食品協同組合 理事長 岩永敏機 氏

4月上旬はジャガイモが品薄で高値となり、トマト、ナス、キャベツも入荷が少なく高値となった。輸入フルーツのグレープフルーツやバナナは病害等の為減産となり高値となった。中旬には野菜の価格は落ち着いてきたが、4月14日から始まった熊本・大分の大地震の余震は今も続いていて、農産物は甚大な被害が発生しており、今後熊本、大分の農産物の入荷が減って品薄となり価格も不安定となるだろうと大変心配しています。

とにかく一日も早くこの地震が終息して復興を願うとともに被災された方に心からお見舞い申し上げます。

■佐賀鮮魚買受人協同組合 理事 坂田重利 氏

新年度に入り歓迎会が増え、刺身商材が動いた。4月に入り気候が安定し、魚の入荷量が増えて売上額が増加。

■佐賀県石油商業組合 専務理事 光武 繁 氏

新年度に入り、原油価格の上昇と元売りの減産及び海外輸出調整で仕入価格も上昇し、4月のガソリン販売価格が8円/ℓ前後の大幅値上げになった。

また「平成28年熊本地震」では当県の給油所では幸い被害がなく、軽油ローリー（自家発電機への供給用）の被災地への応援準備をしたが、出勤要請はなかった。

■佐賀県食肉事業協同組合 事務局長 吉田さおり 氏

牛肉の仕入価格が安定せず、「悪化」は急にはではなく徐々にといった所である。今後も牛肉については続くと見られ、小売店でも販売価格を上げないといけない状況。

■鳥栖本通筋商店街振興組合 理事 永淵太郎 氏

年度末になり、通常より多くの売買が行われた。しかし、値上げの影響により前年より売上は減った。

官公庁は例年通りの売上げだが、民間企業の設備投資や予算消化は年々減少しているように感じる。

■佐賀県自動車整備商工組合 専務理事 保利昌宏 氏

県下の自動車保有台数は67万2千台で、対前年同期比100.2%。

車検台数は27万8百台で対前年同期比102.3%。

自動車標板交付枚数は16万6千8百枚で、対前年同期比95.9%。

商品売り上げは9千3百20万円で、対前年同期比106.1%。

事業場数は789工場で、対前年同期比3工場増。

・平成27年4月の軽自動車税増税に伴う駆け込み需要の反動減による影響が、自動車標板交付枚数に顕著に現われ、減に繋がった。

■佐賀県クリーニング生活衛生同業組合 理事長 坂本豊美 氏

4/29からの連休、集配しても留守が多し。総務省統計局の家計調査報告（二人以上の世帯）では、クリーニング

代支出額は536円前年の606円より11.6%の減とのことで。衣替えのシーズンですが、期待が持てるでしょうか、不安です。

■佐賀県美容業生活衛生同業組合 事務局長 石丸忠良 氏

前月同様、売上高は減少した。また、資金繰悪化のため、組合脱退者が前月に比べ増加する等、相変わらず美容業界を取巻く環境は厳しい状況である。

■佐賀県建設工業協同組合 常務理事 川副健治 氏

平成28年4月の公共事業は、前年同月比では件数、請負額共に減少しており、件数は13.8%の減、請負額においては14.6%の減となっている。

平成28年3月の住宅着工は、戸数では前年同月比は105.6%の増、前月比で40.9%の増、請負額では前年同月比は44.6%の増、前月比で33.9%の増となっている。

また、平成27年度の累計においては、件数が対前年比0.1%の減、請負額においては対前年比1.9%の増となっている。

■佐賀県東部管工事協同組合 事務局長 本田健一 氏

年度も改まり、昨年度未消化の公共下水道工事に伴う補償先行工事で割と工事金額が高い工事が発注された。今後も公共工事の前倒し発注が期待される所である。

■佐賀県貨物自動車事業協同組合 専務理事 志波弘道 氏

- (1) 全体として荷動きが悪く、売り上げ減により経営状況は厳しい。
- (2) 貨物量は、5～6月掛けて更に減少する恐れがある。
- (3) 軽油価格は、ここの所若干の上げ基調にあり、今後の推移に関心が高い。

これからの行事・イベント

組合等

◎大川内山風鈴祭り

日 時：6月18日(土)～8月31日(水)

場 所：伊万里市 大川内山(窯元群)

お問合せ：伊万里鍋島焼会館 TEL 0955-23-7293

概 要：秘陶の里・大川内山の窯元が、それぞれの伝統の技を駆使して作る、繊細にして華麗な美しい風鈴。その透明な音色は、夏の到来を教えてください。魅力のある作品が楽しめる「風鈴まつり」ですが、7月中旬には幻想的な光景が美しい「ボシ灯ろう祭り」も行われる予定ですのでお楽しみに。

◎講演会「大介護時代を乗り切るための経営戦略 ～育児と介護とWLB～」

日 時：平成28年7月15日(金) 13:30～16:00

場 所：佐賀市天神 佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ)1階ホール

お問合せ：女性の活躍推進佐賀県会議事事務局 TEL 0952-25-7062

概 要：少子高齢化により労働力人口が減少し続け、同時に大介護時代の到来が叫ばれる中、介護のために働く時間が制約される社員が増えています。こうした時間制約社員のワーク・ライフ・バランスを図り、優秀な人材の流出を防ぐことは、経営戦略上の大きな課題です。こうした課題解決への一環として、株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部・研究部長兼首席コンサルタント瀧美由喜氏をお迎えし、標記講演会を開催します。是非お誘いあわせのうえご出席ください。

中央会

◎平成28年度佐賀県中小企業青年中央会通常総会

日 時：6月29日(水) 15:00～

場 所：佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀

お問合せ：中央会連携企画部(山崎) TEL 0952-23-4598

概 要：今年度の青年中央会通常総会。総会に合わせて、今年は経営研究所ワンナップ代表・原孝司(はら たかし)氏を講師に招き、「新たな時代の価値残り戦略」をテーマに研修会を開催します。青年中央会会員の青年部の皆様におかれましては、お誘いあわせの上、よろしくご出席をお願いいたします。

◎【働きたいシニアのための合同説明会】開催

日 時：平成28年7月13日(水) 13:00～15:00

場 所：グランデはがくれ(佐賀市天神2丁目1番36号)

お問合せ：中央会 労働部 TEL0952-23-4598

概 要：本会では佐賀県から受託した産業人材ステーション事業の一環として佐賀県内での就職を希望する「概ね60歳以上の求職者」を対象とした会社説明会を平成28年度において3回開催することになりました。その第1回を7月13日に開催いたします。この説明会は働きたいシニアと人材を求める県内企業との出会いをサポートする場を提供することにより、高齢人材の雇用と企業の人材確保の促進を目的に開催するものです。

◎平成28年度中小企業組合トップセミナー

日 時：平成28年7月19日(火)～7月20日(水)

場 所：嬉野市嬉野町 嬉野温泉観光ホテル「大正屋」

お問合せ：中央会 連携企画部 TEL0952-23-4598

概 要：毎年、県内中小企業関係のトップメンバーのご参加を募り、二日間にわたって嬉野にて開催するトップセミナー。もちろん今年も開催いたします！第一日目は報道情報番組でもお馴染みの時事通信社特別解説委員田崎史郎氏を講師にお招きし「これからの政局のゆくえ」をテーマにお話いただき、第二日目にランチェスター戦略コンサルタントであり戦国マーケティング株式会社代表取締役の福永雅文氏をお迎えして、「真田三代四将～幸隆・昌幸・信之・幸村～に学ぶ弱者逆転の戦略」をテーマにお話しいただく事となっています。会員組合・企業のトップの皆様はじめ、県内多数のご参加をお待ちしております。詳細については本誌9ページも併せてご覧ください。

利用料無料!! 使わなきゃソン!

組合や組合員企業で行うイベントや行事など、県一円に広く告知したいものがありましたら中央会連携企画部までご一報ください!

編集雑記

4月14、16日に発生した熊本地震。熊本・大分両県を中心に大きな被害が出ましたが、本県においても軽微ながら被害が発生しました。ひと月余りたった今も余震は収まらず、被災地の皆様は不安の渦中にいらっしやることと思います。被災者の皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早く平穏な日常が戻ってくる事を切に願います。これまで、九州地方は比較的地震が少ない事が自慢でありましたが、それが神話に過ぎない事を痛感させられた地震でもありました。5年前の東日本大震災を教訓に、BCP(事業継続計画)の重要性が言われるようになりましたが、今般、九州でもBCPが優先順位の高い課題に浮上して来たのではないのでしょうか。企業のBCP策定に中心的役割を果たす事が出来るのが組合でもあります。こうした観点からも組合の意義について改めて考えていきたいところです。(M)

COMMUNICATION NETWORK FOR MEMBERS

組合活性化情報誌 **Link** リンク NO.215

平成28年5月31日発行



佐賀県中小企業団体中央会

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1番12号

佐賀商工ビル6階

TEL.0952-23-4598 FAX.0952-29-6580

URL <http://www.aile.or.jp> E-mail staff@aile.or.jp

Sienta

HOW DO YOU USE TODAY

今日を、どう使う？

今日はどこ行く？なにをする？みんなに平等に与えられた今日という一日を、どれだけ自由に楽しく使えるか？それはキモ子の問題じゃなく、クルマの問題だ。どんな今日にも万端で、家族をバツとイメチェンする1台。全く新しくなったシエンタで、みんなの今日をスポーツに！

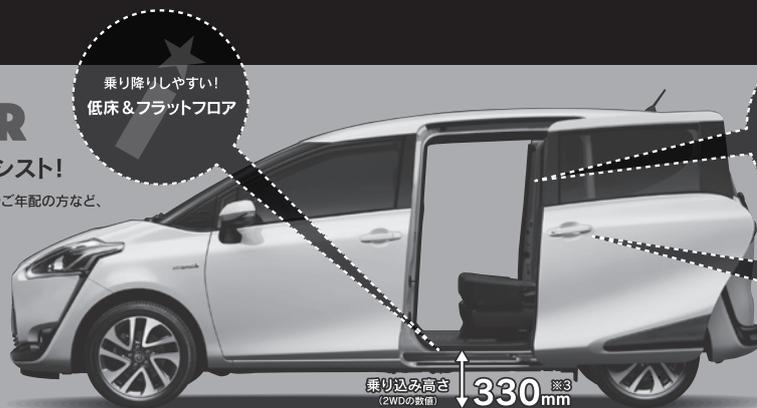


SLIDE DOOR

家族の乗り降りに、ナイスアシスト！

いつでも誰でもスムーズイン&アウト。お子様やご年配の方など、家族の乗り降りをしっかりとアシストします。

※1. 破損を防ぐためにアシストグリップに重たいものをかけたり、過度の負荷をかけないでください。
※2. XNリハーフクーペアを除く全車に標準装備。HYBRID G、G、G車いす仕様車はデュアルとなり、HYBRID X、X、X車いす仕様車は助手席側となります。挟まれる物の形状や挟まれ方によっては挟み込みを検知できない場合があります。開閉時は十分にご注意ください。
※3. 2WDの数値、4WDは350mm。数値は社内測定値。測定箇所により数値は異なります。



HYBRID & NEW ENGINE

ミニバントップレベル※4の低燃費！

ミニバントップレベル※4の低燃費を誇るハイブリッド車がついに登場！また、ガソリン車には新高効率エンジン※5を搭載！お出かけの幅がグンと広がります。

※4. 2015年7月現在、トヨタ自動車調べ。 ※5. ガソリン(2WD)車 ※6. 4WD車は15.4km/L ※7. 車いす仕様車(2WD)は19.6km/L

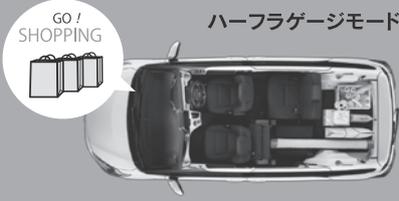
ハイブリッド車
JC08モード
燃料消費率(国土交通省審査値)
27.2 km/L ★1
HYBRID SYNERGY DRIVE

ガソリン車
JC08モード
燃料消費率(国土交通省審査値)
20.6 km/L ★1※6
JC08モード
燃料消費率(国土交通省審査値)
20.2 km/L ★1※6※7

LUGGAGE シートを格納するとあつという間に大収納空間に！

サードシートのダイビング格納機構と、セカンドシートのシートアレンジと合わせて、広々とした荷室スペースが完成！大きな荷物も余裕で積み込めます。

■ 自転車は大きさや形状によって積載できない場合があります。詳しくは店頭にスタッフにご確認ください。
■ 通常以外のシートアレンジをするときや走行できない場合や、ご注意ください。項目があります。必ず取扱書をご覧ください。
■ 走行時には、後方視界確保、荷物の転倒防止にご留意ください。
■ 写真は機能説明のためにボディの一部を切断したカットモデルです。
■ 車いす仕様車は仕様異なります。



★1. 国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

佐賀トヨペット株式会社

本社/〒849-0932 佐賀市鍋島町大字八戸溝150番地5 ☎(0952)33-6111

佐賀トヨペットホームページ <http://www.sagatoyopet.com>

- 佐賀店 ☎(0952)33-5811
- 鳥栖店 ☎(0942)81-5255
- 唐津店 ☎(0955)72-8128
- 伊万里店 ☎(0955)23-8406
- 武雄店 ☎(0954)23-4178
- 鹿島店 ☎(0954)63-1535
- 鍋島マイカーセンター ☎(0952)31-4561
- 武雄マイカーセンター ☎(0954)23-4661

フリーダイヤル
0120-23-5671

県共済の各種プラン

営利でなく、相互の助け合いを目的に。

自動車総合共済 MAP

シンプルで
わかり易く
納得の
共済掛金

Mutual Automobile Policy

企業の経費節減、個人の家計費の軽減にお役にたつ共済事業
今、注目されています。



企業の経営者、従業員、ご家族の皆様にお役に立ちます。

建物等の災害には

- 火災共済
- 休業補償共済



ケガや病気には

- 生命傷害共済
- 医療総合保障共済
- 傷害総合保障共済
- 所得補償共済
- 労働災害補償共済

車の事故には

- 自動車総合共済
- 自動車事故費用共済



お問合せ・お申し込みは 佐賀県中小企業団体中央会

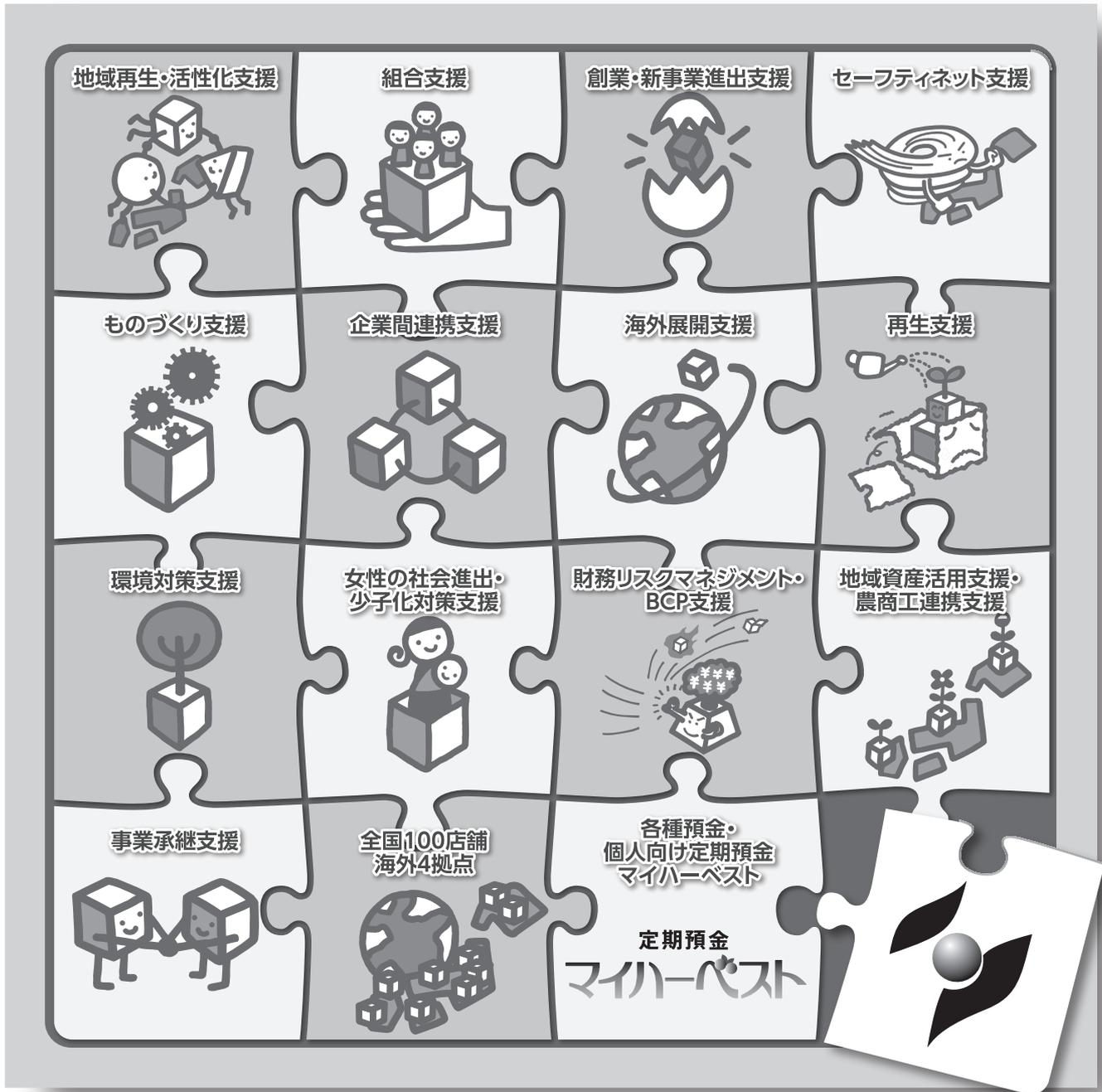


〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号

佐賀県火災共済協同組合

TEL0952-24-6984 FAX0952-24-6907

商工中金は、幅広いサービスで 中小企業と地域の未来を支えます。



商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする公的金融機関です。
お客さまとともに、地域活性化に全国で取り組んでいます。

佐賀支店 0952(23)8121

〒840-0801 佐賀市駅前中央1-6-23



人を思う。未来を思う。

商工中金